

町民の声を大事にして、佐々町を守り くらしと福祉に全力つくします



日本共産党
仲村よしひろ町議

「税金は子どもやお年寄りのために一番に使わんば」との町民の声。仲村よしひろ町議は、税金のムダづかいをただし、くらしと福祉第一で毎議会一般質問をしてきました。町民のために大事なことは、他の議員とも力を合わせてきました。佐々町を守り、くらしと福祉の充実をめざして行動し、実現するまで頑張ります。

「合併協議会ノー」

住民投票の結果を尊重するのが
議員の務めではないでしょうか

「合併協議会」設置には反対——この住民投票の結果を尊重するのが議員の務め。日本共産党の仲村よしひろ町議はこの結果を尊重して、佐々町を守り、佐々町の発展のために、町民みんなと力を合わせて頑張ります。

「平成の大合併」について来年の3月で「一区切り」——首相の諮問機関の地方制度調査会は、6月に提出する答申の素案にこう書いています。こんな時期に佐々町を無理やり合併に押し込む必要は、もうありません。

「国保税一世帯1万円の引き下げ」 の提案をします

「国保税が高くて払いきれない」という声が、たくさんだされています。仲村よしひろ町議は「国保税は全世界帯に交付せよ」「資格証明書の発行をやめよ」と要求。昨年12月議会で取りあげた子どものいる世帯への国保税の交付は、国に先がけて今年2月から実現。今度は「国保税の一世帯1万円の引き下げ」の提案をします。

その予算の2000万円は、国保会計の基金の活用や、予算の組み替え、町長などの3役の退職金の見直しなどでつくります。また国の責任で一人当たり1万円の引き下げをめざします。

食糧費が17年間で1700万円から 220万円に——税金のムダづかいをただす

仲村よしひろ町議は初当選らしい税金のムダづかいを一貫して追及してきました。ひきつづき税金のムダづかいをただして、くらしや福祉のために予算を生かしていきます。

■食糧費（会議用茶菓子・弁当など）
1700万円→220万円（平成2年度から19年度）

■町長交際費 400万円→30万円（平成2年度から19年度）

激動する佐々町にあつて、 佐々町を正しく引っ張って欲しい

私は町職員時代に仲村議員とは議会など、かなりきびしく立ち往生させられました。激動する日本と佐々町にあつて、仲村議員のようなベテラン議員に佐々町を正しく引っ張ってもらいたい。（里町内会役員さんの声）